

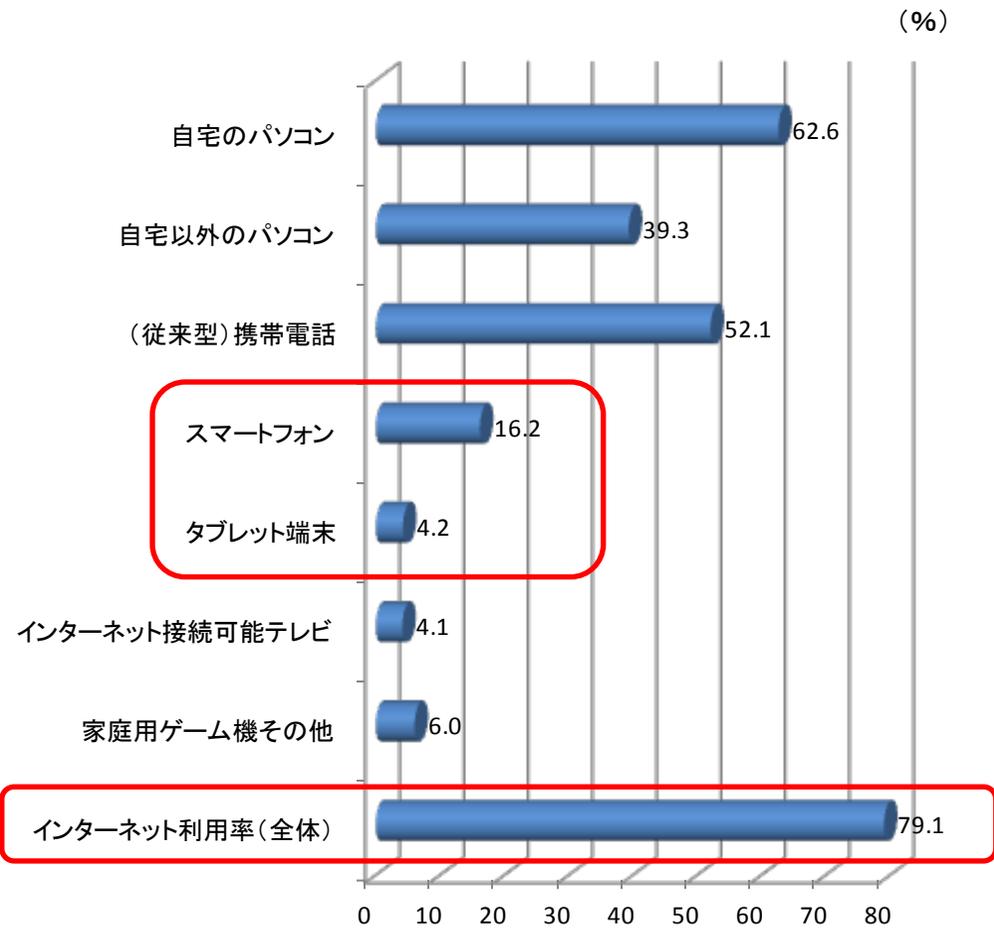
平成23年通信利用動向調査 ポイント

※タイトルに(世帯)と付した項目は世帯調査、(企業)と付した項目は企業調査、その他は世帯構成員(個人)調査結果に基づく。

1 インターネット人口普及率について

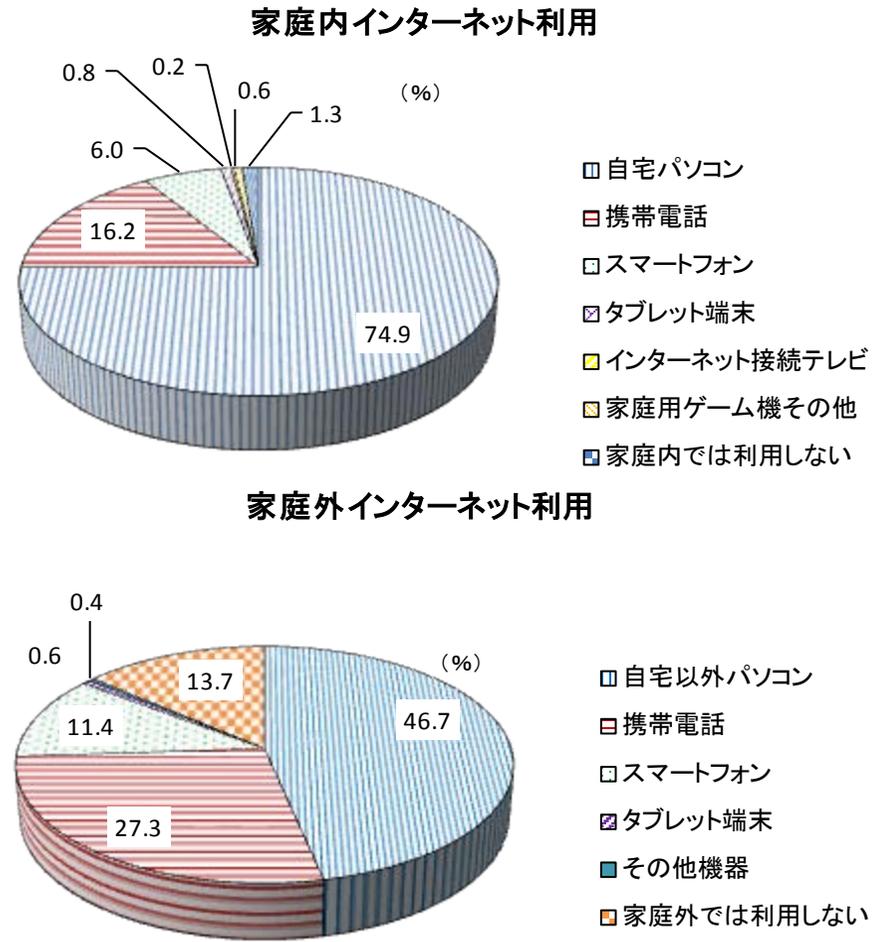
全体的には、パソコン及び携帯電話によるインターネット利用が多く、主として利用する端末としても両者が家庭内外で7割を超える。

端末別インターネット利用（人口普及率）



※当該端末を用いて平成23年の1年間にインターネットを利用したことのある人の比率を示す(無回答を除く)。

家庭内外で主としてインターネット接続に使う端末（インターネット利用者に占める比率）

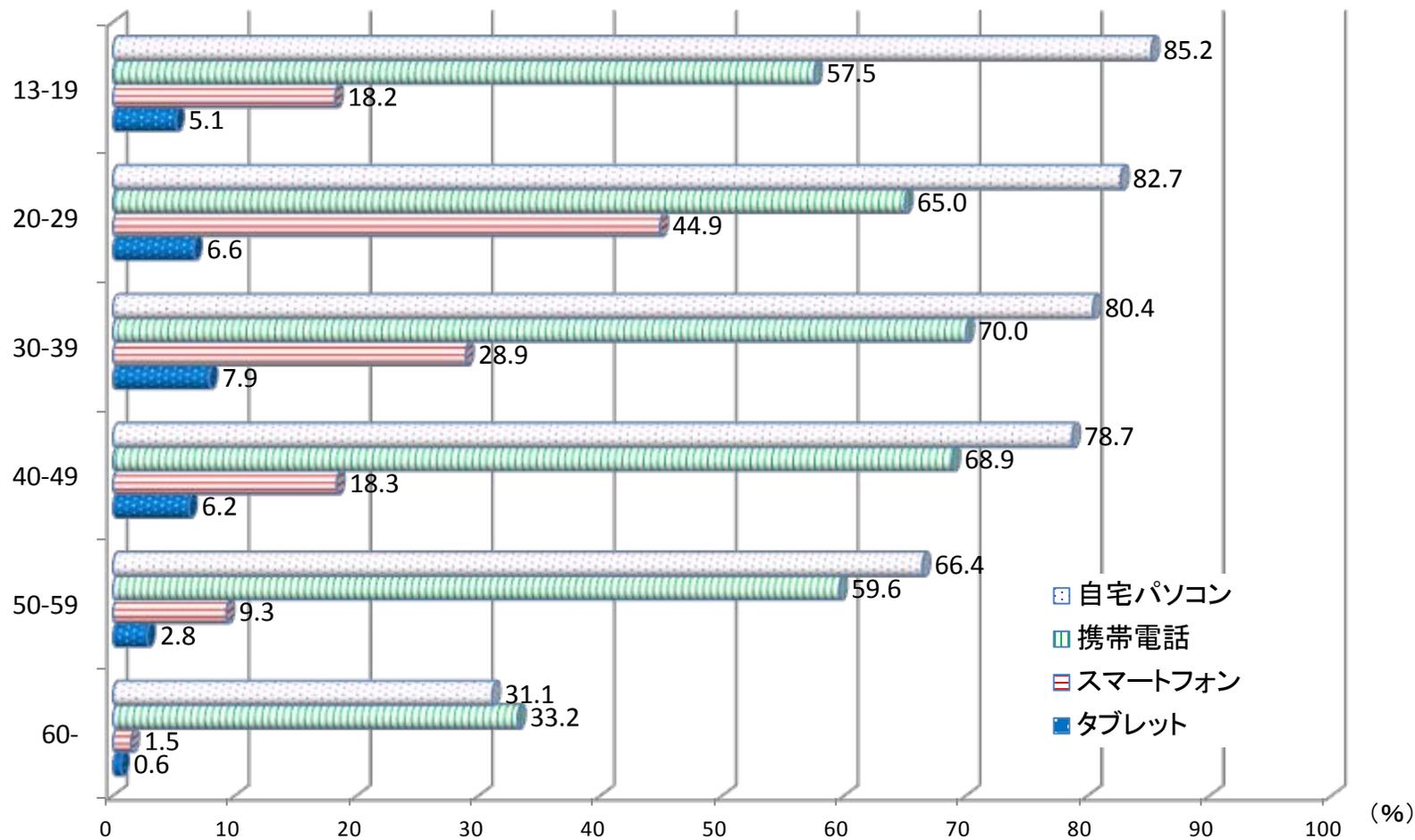


※平成23年の1年間にインターネットを利用したことのある人に占める当該端末を主として利用する人の比率を示す(無回答を除く)。

2 携帯電話ユーザーとスマートフォンユーザーのインターネット利用動向①

携帯電話は幅広い年代でインターネット接続に活用。スマートフォンは世代間格差が大きい。

端末別インターネット利用（世代別人口普及率）



※当該端末を使用して過去1年間にインターネット利用経験がある回答者の比率（無回答を除く）

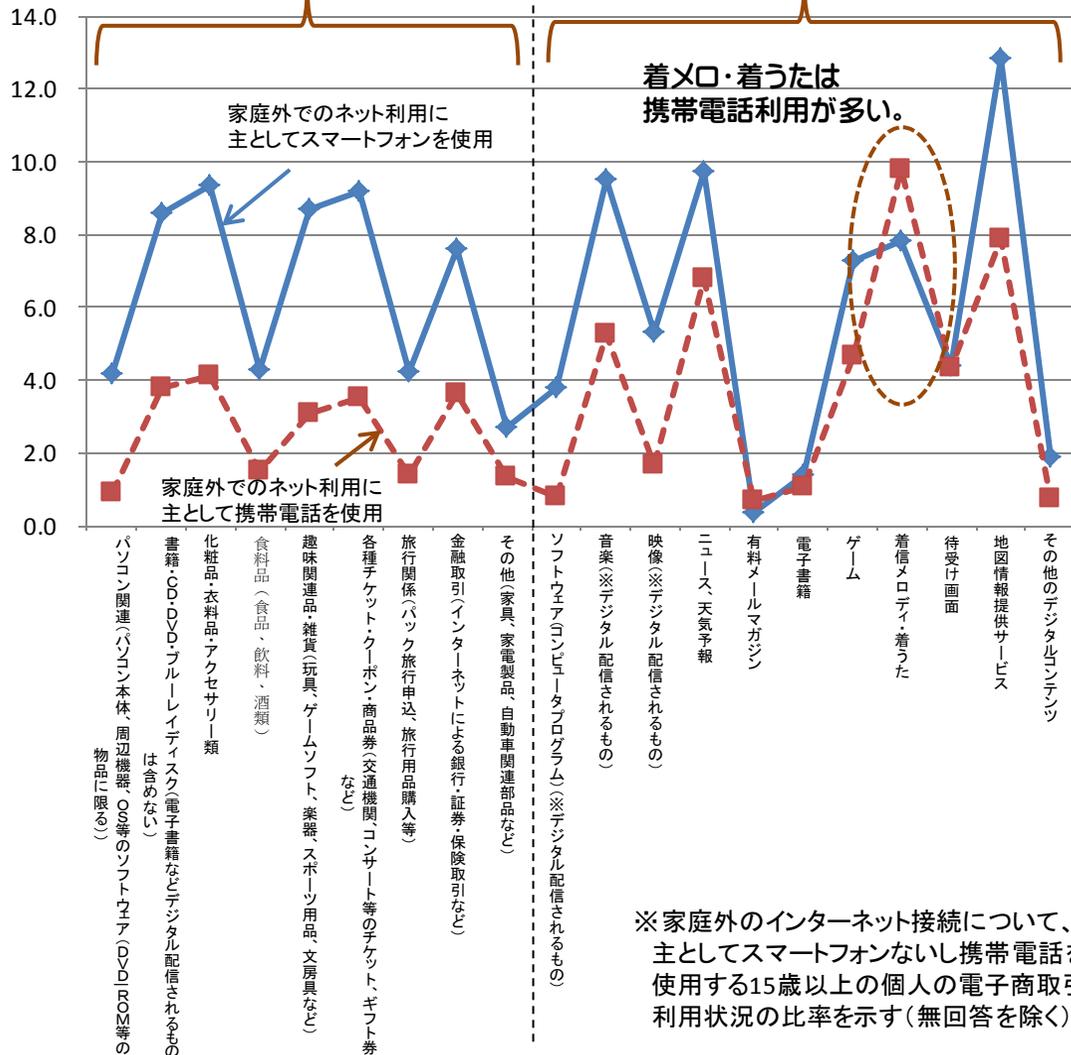
2 携帯電話ユーザーとスマートフォンユーザーのインターネット利用動向③

スマートフォンユーザーの方が、携帯電話ユーザーより、家庭外からの電子商取引利用についても概ね積極的

家庭外での電子商取引の利用率

ネット経由の商品の購入は、スマートフォン利用が多い。

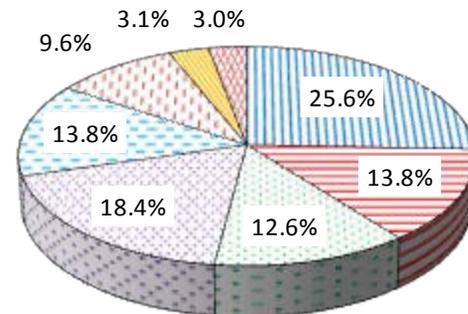
コンテンツ配信の利用も、概ねスマートフォン利用が多いが、商品購入ほど差はない。



家庭外でのインターネット購入の上限金額

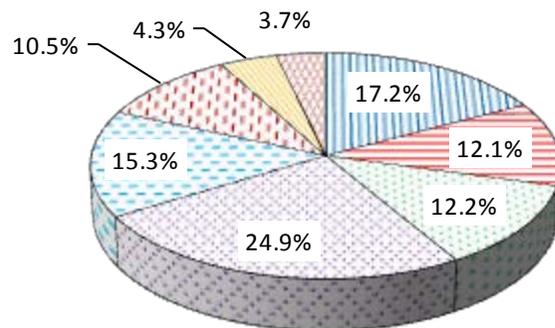
スマートフォンは、従来型携帯電話より、インターネット購入上限金額が平均で約2,500円高い。

<携帯電話>



平均金額: 13,054円

<スマートフォン>



平均金額: 15,533円

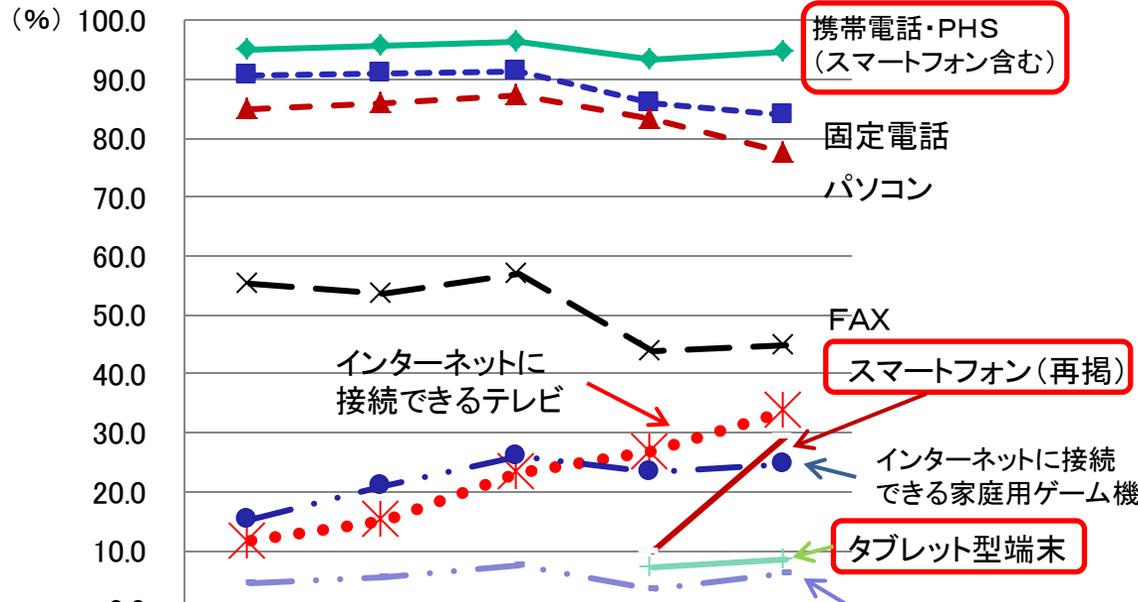
※家庭外のインターネット接続について、主としてスマートフォンないし携帯電話を使用する15歳以上の個人の電子商取引の利用状況の比率を示す(無回答を除く)。

※1 15歳以上の家庭外からのインターネットでの購入経験者に占める金額の比率及び平均金額を示す(無回答を除く)。

3 主要情報通信機器の世帯保有の状況(世帯)

主要情報通信機器の世帯保有の状況

情報通信機器の普及が全体的に飽和状況の中、スマートフォン保有が顕著な伸び。



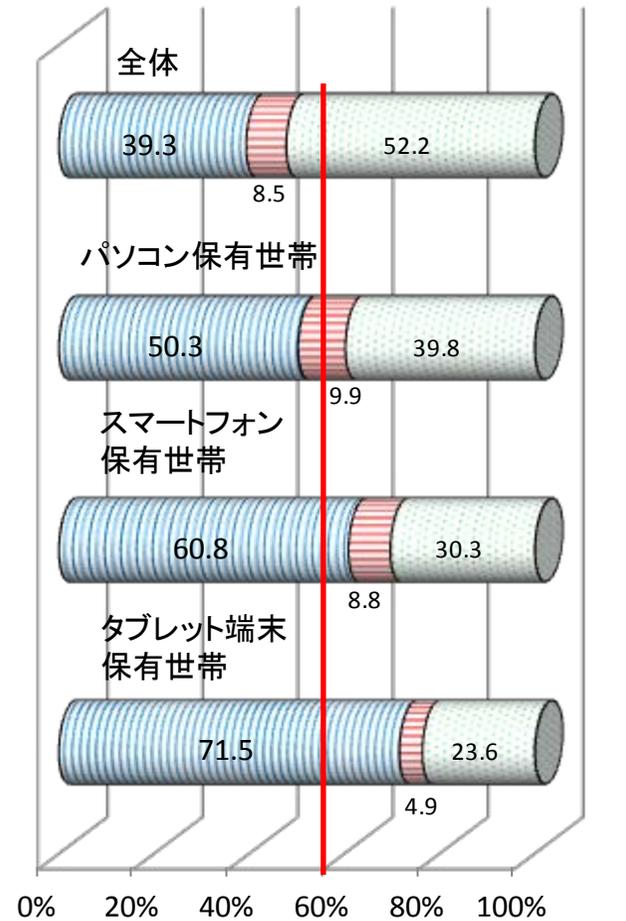
※無回答を除く

	平成19年末 (n=3,640)	平成20年末 (n=4,515)	平成21年末 (n=4,547)	平成22年末 (n=22,271)	平成23年末 (n=16,530)
● 携帯電話・PHS(スマートフォン含む)	95.0	95.6	96.3	93.2	94.5
■ 固定電話	90.7	90.9	91.2	85.8	83.8
▲ パソコン	85.0	85.9	87.2	83.4	77.4
✕ FAX	55.4	53.5	57.1	43.8	45.0
● インターネットに接続できるテレビ	11.7	15.2	23.2	26.8	33.6
● インターネットに接続できる家庭用ゲーム機	15.2	20.8	25.9	23.3	24.5
● タブレット型端末				7.2	8.5
● その他インターネットに接続できる家電(情報家電)等	4.3	5.5	7.6	3.5	6.2
● (再掲)スマートフォン				9.7	29.3

※「携帯電話・PHS(スマートフォン含む)」は、平成22年末以降において、スマートフォンを内数に含む。平成23年末のスマートフォンを除いた場合の保有率は89.4%である。

保有端末別家庭内無線LANの利用率(世帯)

スマートフォン・タブレット端末保有世帯の利用率は6割を超える。

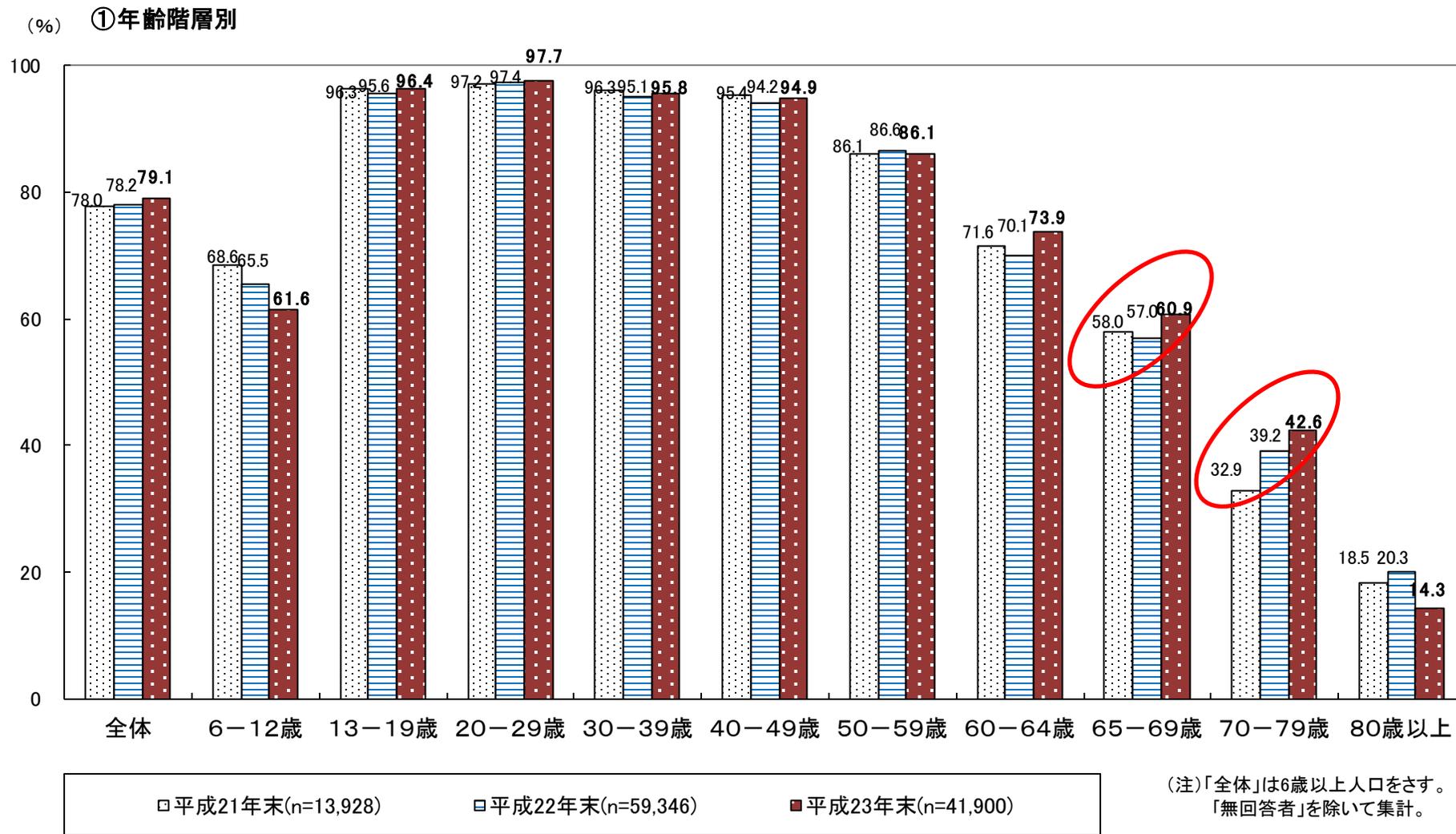


□ 利用している □ 導入予定 □ 導入予定なし

※無回答を除く

4 インターネット利用の年齢階層別状況 ①インターネット普及率

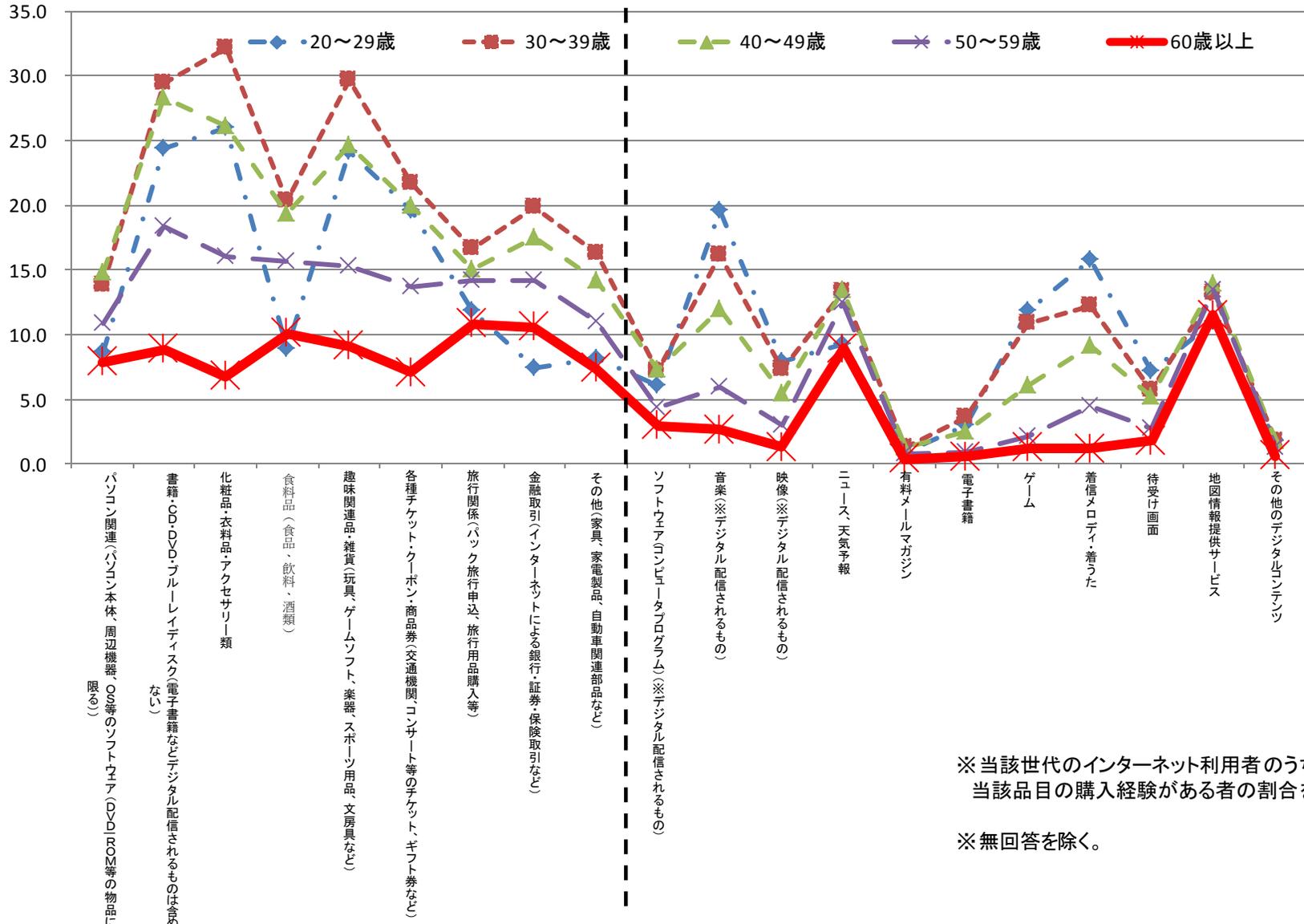
60歳以上のインターネット利用は、概ね増加傾向にあるが、水準としては他の世代に比べて低い。13歳～49歳までの利用率が9割を超えているのに対し、60歳以上は大きく下落。



4 インターネット利用の年齢階層別状況 ②電子商取引利用

ネット経由の商品購入については、40代までと50代以降に、利用率に大きな格差が存在。

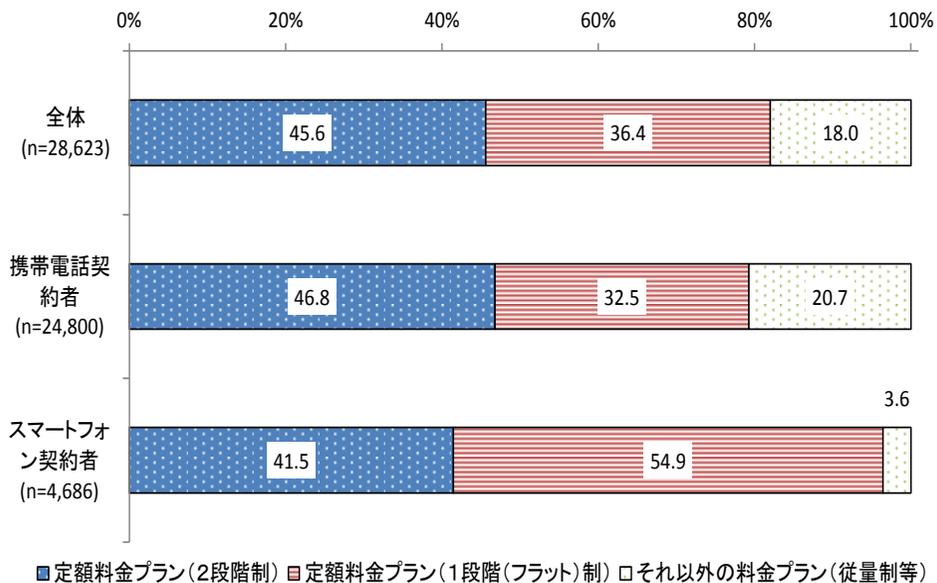
電子商取引の利用率（年代別比較）



※当該世代のインターネット利用者のうち、当該品目の購入経験がある者の割合を示す。
 ※無回答を除く。

データ通信料金プランの状況

スマートフォン利用者は定額料金プラン(1段階(フラット)制)の契約が5割を超えている。

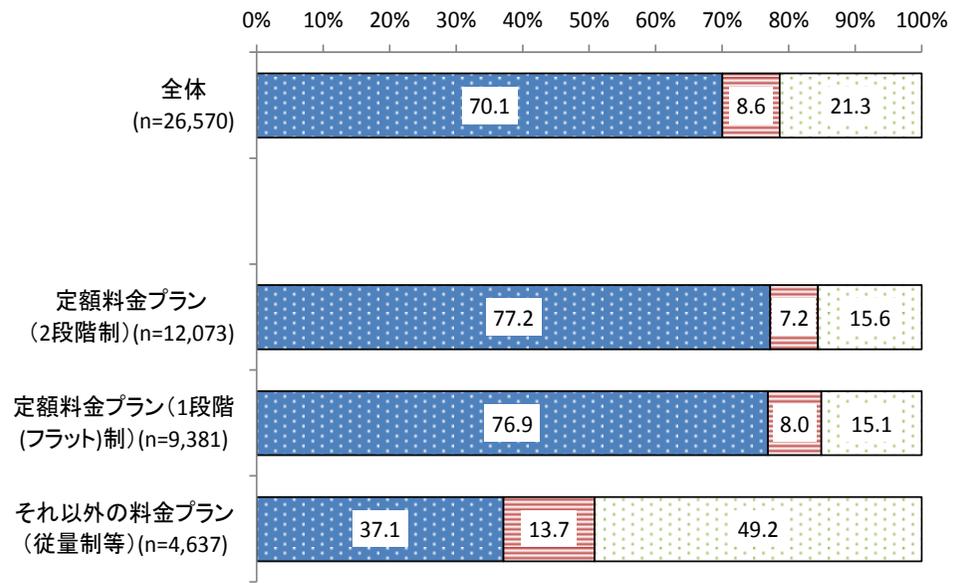


※対象:携帯電話・スマートフォン・タブレット型端末契約者

(無回答を除く)

料金体制の見直しに関する意向

定額料金プラン契約者の7割が、引き続き現在のような定額制中心の料金体系が良いとしている。



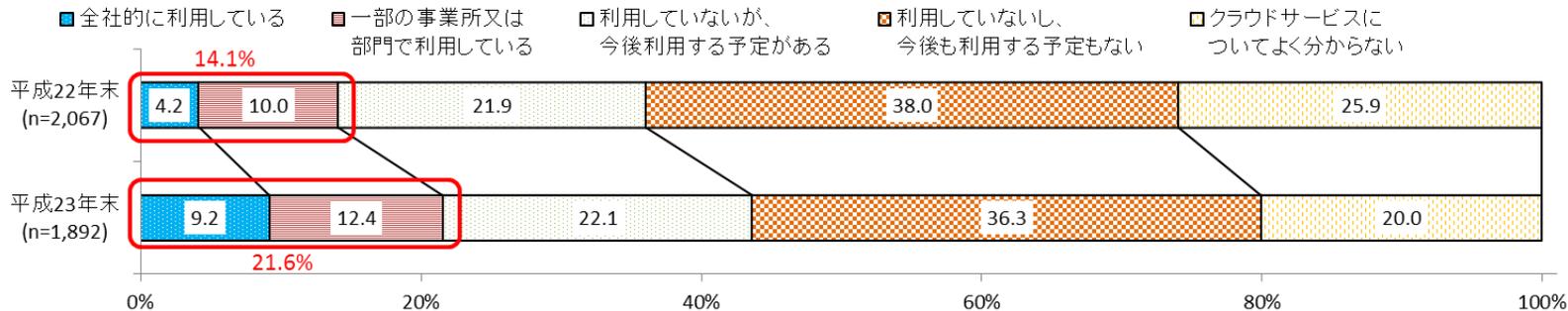
※対象:携帯電話・スマートフォン・タブレット型端末契約者

(無回答を除く)

6 クラウドサービスの利用状況（企業）

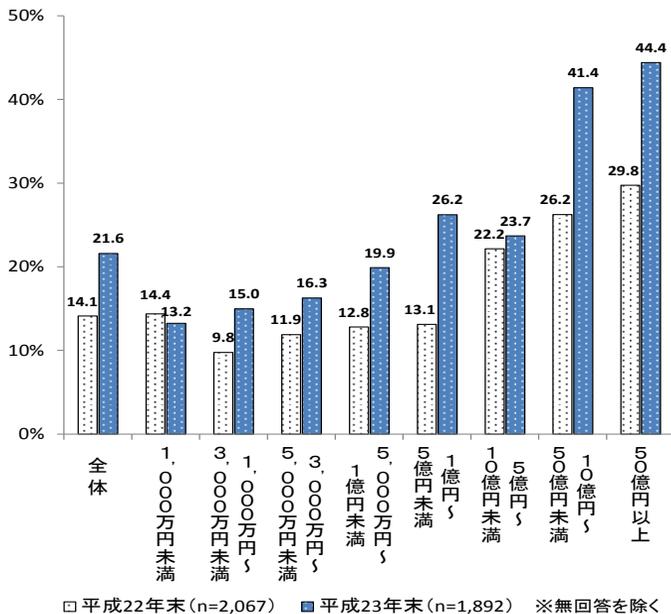
クラウドサービスの利用状況

クラウドサービスを利用している企業の割合は平成22年末の14.1%から21.6%に上昇。



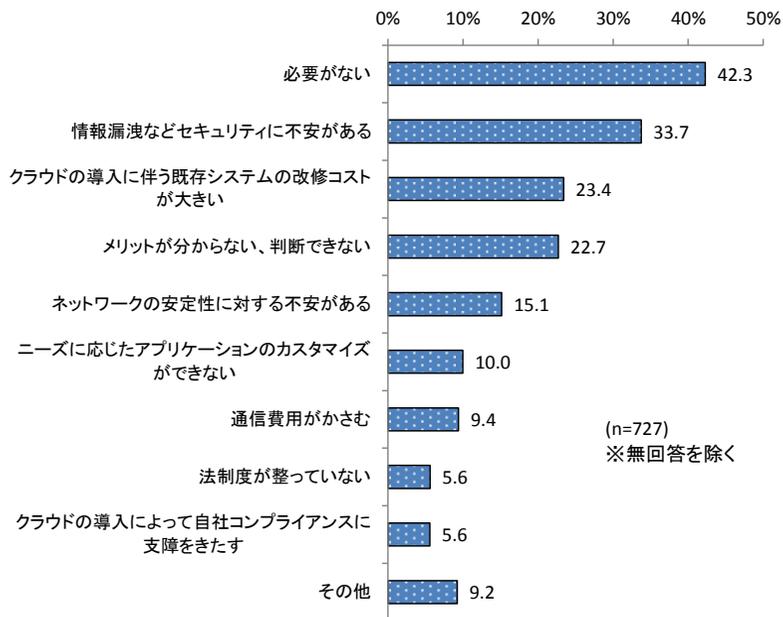
資本金規模別クラウドサービス利用状況

クラウドサービスの利用率は概ね資本金規模に比例して上がる傾向にある。



クラウドサービスを利用しない理由

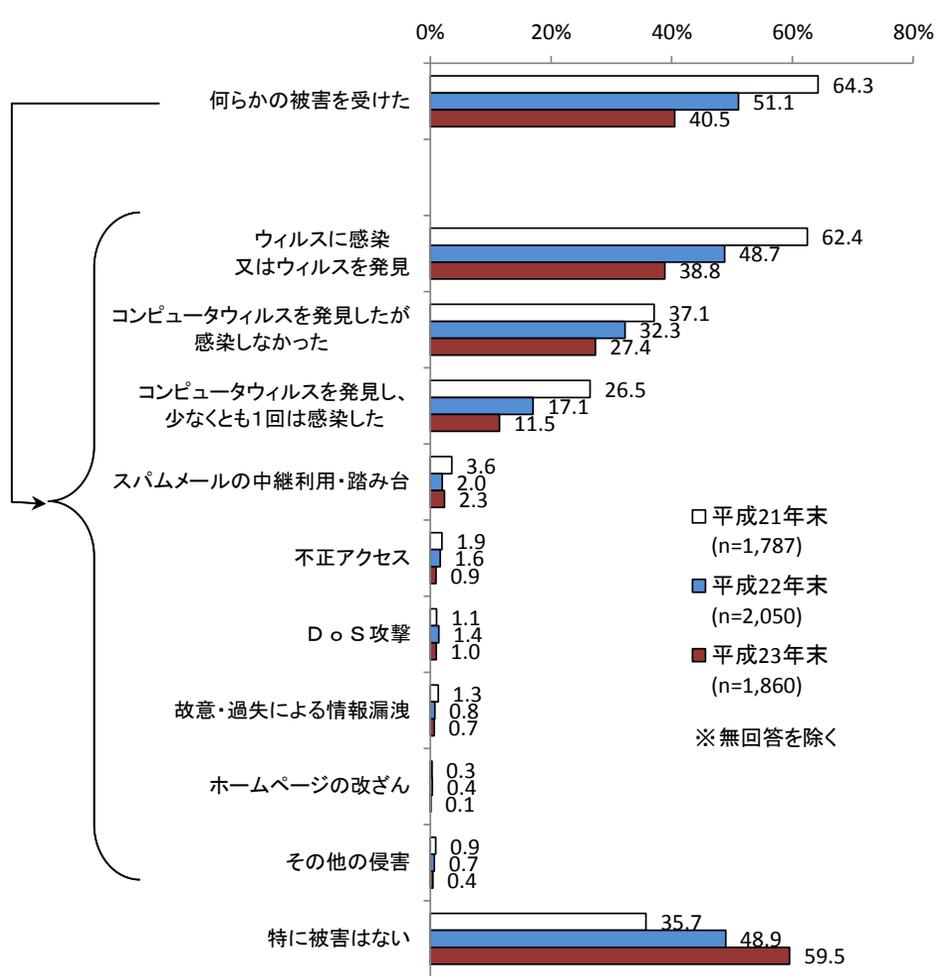
クラウドサービスを利用していない企業は、42%が「必要ない」、34%がセキュリティ面の不安を挙げている。



7 企業通信網に対するセキュリティ侵害状況(企業)

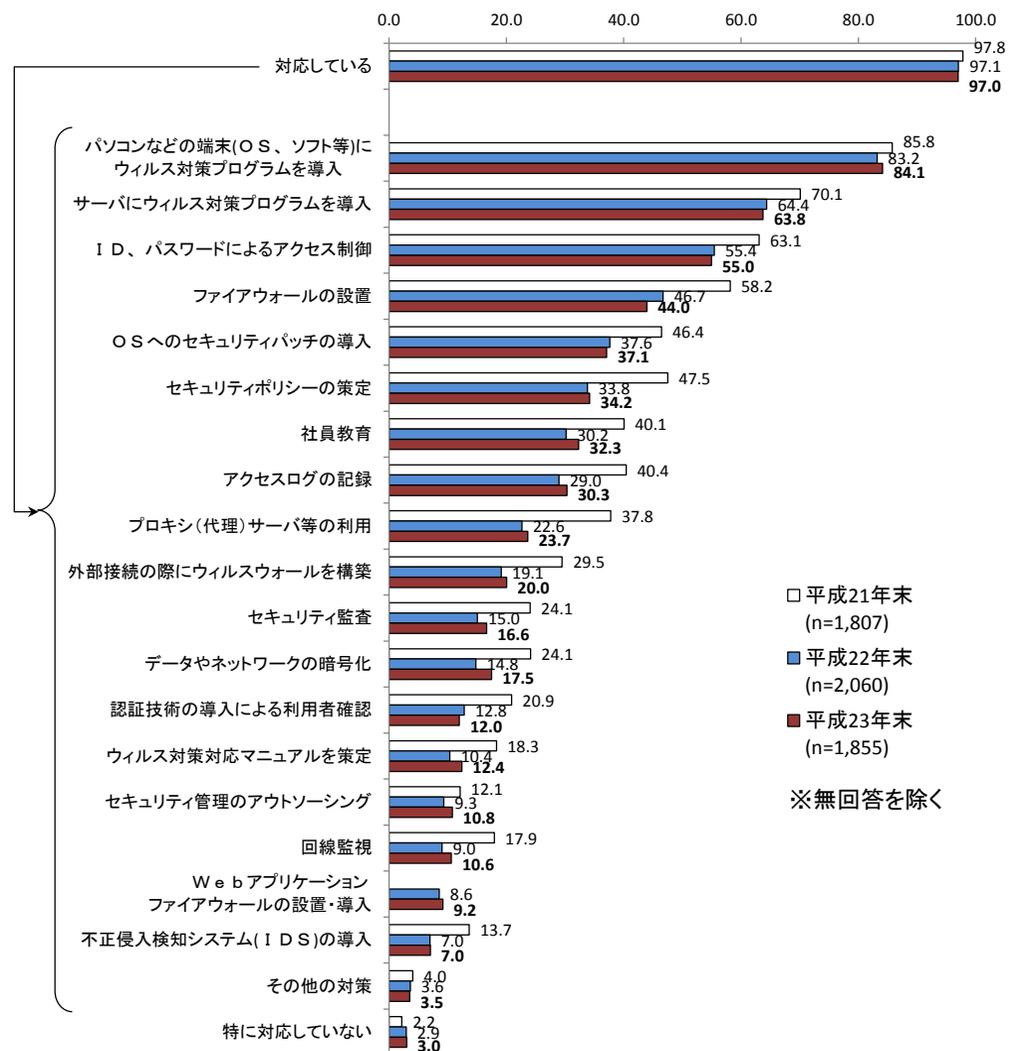
企業の情報セキュリティ被害の状況

ウイルス感染又は被害を受けたと回答した企業の比率は平成21年調査の62.4%から平成23年調査では38.8%と大きく低下。



企業の情報セキュリティ対策の状況

何らかの対策を講じているとの回答が、平成21年調査から平成23年調査にかけていずれも97%台と高い水準で推移。



※「Webアプリケーションファイアウォールの設置・導入」は、平成22年末からの調査項目